

JGATEによるジョブコーチ研修実施

障害者雇用が活発なザルカ県のドウレイル地区で、3日間のジョブコーチ研修を実施しました。今回の研修は、ヨルダン繊維業協会(JGATE)による依頼と主導により、プロジェクトがそれを受けて研修実施する形となりました。プロジェクトで育成したジョブコーチトレーナーが協力し、会場はジョブコーチトレーナーの一人が勤務するDhulial Woman Associationによって無料提供されました。参加者はドウレイル地区にあるJGATE傘下の企業に勤める職員9名で、研修に対する参加者の満足度は高く、研修会場が職場に近いために参加しやすかった等の声が聞かれました。



グループワークの成果品発表



参加者とトレーナー

シリア人難民障害者の就労を目指して

ヨルダン人とシリア難民を支援する目的の雇用センターを運営している国際労働機関(ILO)職員に対して、雇用ガイドブックに基づく啓発セッションを実施しました。国内に11箇所あるILOの雇用センターには、それぞれ1~2名のスタッフが配置されており、雇用先の開拓や求職者への就労支援を実施しています。対象者には障害者も含まれており、障害者に対する支援が全体の3%に達することが一つの目標とされていることから、啓発セッションが実現しました。シリア難民障害者の就労はヨルダン人以上に難しく、今回の協働がシリア難民障害者の就労促進の一助となることを期待しています。



労働省職員による啓発セッション

シリア難民障害者女性グループ活動

シリア人の理学療法士を招き、車椅子を使って上手に動く方法や介助者がどの様にサポートすればよいかについて学ぶ機会を提供しました。また、参加者からのリクエストを受けて実施している識字教育は、外部から講師を招くのではなく、読み書きができるメンバーが他のメンバーやその女性家族に教えています。



理学療法士による講義